

東芝換気扇取付説明書 (ダクト用)

形名 DVF-14MRX, 14MRK, 14MRKQ, S14MRKQ, 18MRX, 18MRKQ, DVF-20MRX, 20MR, 20MRQ, 23MRX, 23MR, 23MRQ

- この換気扇の注意事項をよく知っていただき、正しく取り付けいただくためにこの取付説明書をよくお読みください。
- 本説明書は換気扇の取り付けと関連工事（建設工事）である大工工事、電気工事、配管工事などを区別して説明しています。
- 建設工事は関連する法令、規定に従って法的有資格者による工事が必要となります。
- 流通業者（販売店）を通して換気扇の取り付けを行う場合は、建設工事部分と区別して行ってください。
- この取付説明書は設置完了後、お客様にお渡しください。
- 別売部品をご利用ください。（詳しくはカタログをごらんください）

日本国内専用
Use only in Japan

安全上のご注意

- 取付の前はこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく取り付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

表示	表示の意味
	警告 誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
	注意 誤った取り扱いをすると人が傷害を負ったり、*物的損害の発生が想定される内容を示します。

図記号の意味 * 物的損害とは家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

表示	図記号の意味
	改造禁止 〇は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、〇の中や近くに文章や絵で示します。左図の場合は「改造禁止」を示します。
	アースを接続する ●は、強制（必ずすること）を示します。具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。左図の場合は「アースを接続する」を示します。

- 取付設置完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、この取付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。

警告

	改造はしない 火災・感電・けがの原因になります。
	修理技術者以外の方は分解、修理（※）をしない 火災・感電・けがの原因になります。 ※修理はお買上りの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご連絡ください。
	アースは確実に取り付け 故障や漏電したとき、火災・感電の原因になります。アースの取付は販売店や電気工事店を通じ、電気工事士へ依頼してください。
	メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属性ダクトが貫通する場合、金属性ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取り付け 漏電した場合、火災の原因になります。
	内釜式風呂を設置した住宅には取り付け 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。
	電源は交流 100V を使う 交流 100V 以外の電源を使うと、火災・感電の原因になります。
	煙突排気の燃焼器具がある住宅に据えつけるときは、十分な大きな空気取入口を別に付ける 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。
	包装用ポリ袋は幼児の手の届かない所に廃棄または保管 頭からかぶるなどすると、口や鼻を塞ぎ、窒息の原因になります。
	ガス漏れのときは、窓を開けて換気する 電源スイッチを入れたり切ったりすると、ガス爆発の原因になります。
	水や洗剤などをかけたり、吹きつけたりしない 漏電により、火災・感電の原因になります。

注意

	浴室内には壁スイッチを取り付け 火災・感電の原因になります。
	炎があたる恐れのある場所には取り付け 火災の原因になります。
	強度のある場所に確実に取り付け 落下により、けがをする原因になります。
	本体カバーや部品は確実に取り付け 落下により、けがをする原因になります。
	電気工事は必ず電気工事店に依頼する 電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う電源電線の接続は機械的な方法で確実に接続する 火災の原因になります。
	浴室など湿気の多いところには取り付け 火災・感電の原因になります。
	製品の取り付けのときは、手袋を着用 手袋を着用しないと、けがの原因になります。

取付上のお願い

- 次のような場所（×印）には取り付けないでください。

形名	取り付け場所		
	居間	台所(電磁炉)	浴室
DVF-14MRX, 18MRX	○	×	×
DVF-14MRK, 14MRKQ, S14MRKQ, 18MRKQ, 20MRX, 20MR, 20MRQ, 23MRX, 23MR, 23MRQ	○	○	×

ガス湯沸器の真上（横方向へ50cm以上離してください）

- 次のようなダクト工事はしないでください。

- (1) 極端な曲げ
- (2) 多数回の曲げ
- (3) 接続ダクト径を極端に小さくする
- (4) 排気口のすぐ近くでの曲げ

- ダクトと排気口をテクスねじなどで止めないでください。

- 地域によってはジャバラが使えないことがあります。（詳細は行政官庁または消防署にお問い合わせください。）

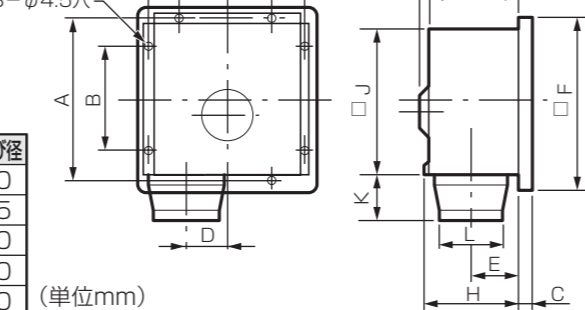
- 共同ダクトへ排気するときには、建築基準法施行令により防火の役割を果たすものを使用することが義務づけられていますので、2mの鋼板立上がりダクトを取り付けてください。

- 金属ダクトを使用して木造の壁を貫通する場合、金属ダクトがメタルラス張り、ワイヤラス張りまたは金属板張りの部分と接する部分は、金属ダクトを絶縁してください。

- この換気扇をレンジ用として使用する場合は（DVF-14MRX, 18MRXの使用はできません）

- ①換気扇の周囲をレンジと同寸、またはそれ以上の幅のフードを取り付けてご使用ください。（図1）
- ②取り付け高さはレンジの真上 80cm以上してください。高すぎると煙その他の捕集効果が低下します。また低すぎると台所仕事のさまたげになったり高熱による故障の原因にもなります。（図2）
- ③料理の種類によっては極端に多くの煙が発生し捕集しきれないことがあります。お台所は全体換気のために、他の換気扇と併用していただければ、よりすぐれた換気ができます。
- ④レンジの真上に可燃物がある場合、消防署の指導を受けることがありますので、取り付けに当っては所轄の消防署などにご相談ください。

製品寸法



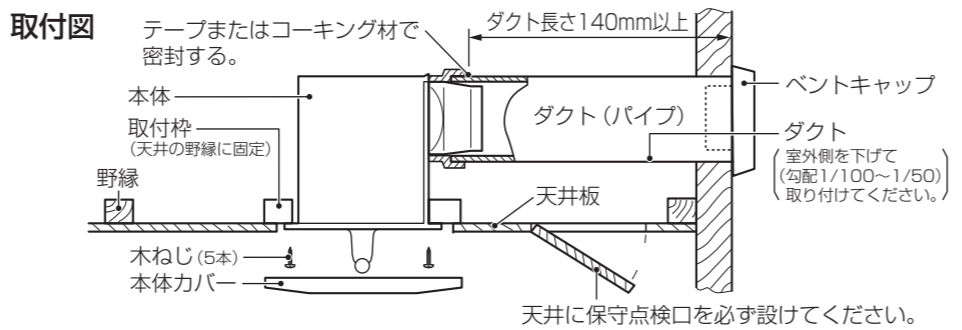
形名	取付枠内寸	ダクト呼び径
DVF-14タイプ	□225	φ100
DVF-S14タイプ	□225	φ75
DVF-18タイプ	□275	φ150
DVF-20タイプ	□316	φ150
DVF-23タイプ	□363	φ150

形名	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M
DVF-14タイプ	243	140	10	0	108	280	200	197	217	72	φ98	196
DVF-S14タイプ	243	140	10	0	108	280	200	197	217	131	φ73	196
DVF-18タイプ	290	180	10	58	128.5	330	240	235	270	101	φ143	233
DVF-20タイプ	335	221	10	88	130	370	255	243	309	101	φ143	241
DVF-23タイプ	383	220	10	108	152	420	274	252	358	101	φ143	250.5

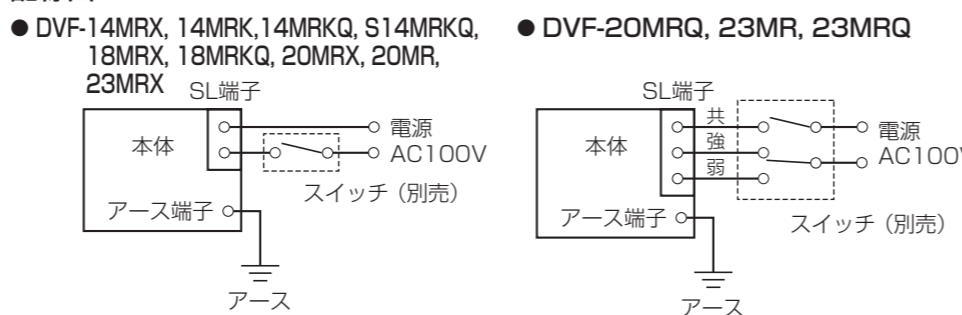
- 付属品の確認をしてください。
- 木ねじ5本（本体固定用・排気口固定用） ●取付ボルト1本（本体仮固定用）

取付方法

- 取付設置前に本体に異常音、変形などの異常がないか確認してください。
- 取付時、板金部品の端面で手を滑らせるとけがの原因になります。手袋を着用してください。



配線図

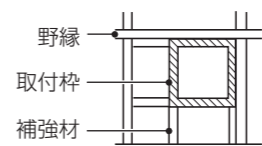


A. 天井板を貼る前のとき

取付枠に取り付けるとき

A-1

- 取付枠内寸に合わせて取付枠をつくり野縁に固定します。

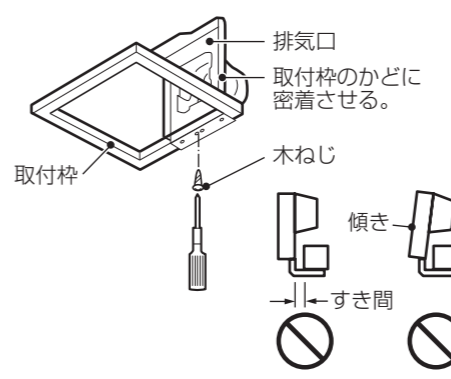


- 取付枠の質量に十分耐えるよう取付枠を補強材等で野縁に固定します。

形名	取付枠内寸	製品質量
DVF-14タイプ	□225	3.8kg
DVF-S14タイプ	□225	4.0kg
DVF-18タイプ	□275	5.3kg
DVF-20タイプ	□316	7.4kg
DVF-23タイプ	□363	9.9kg

A-2

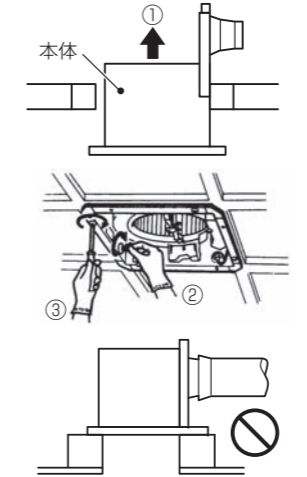
- 排気口を固定します。
- ①排気口を取付枠のかごにすき間や傾きがないように付属の木ねじ（1本）で固定します。



- 設置をするときシャッターを変形させないでください。

A-3

- 本体を取付枠に固定します。
- ①本体を取付枠にはめ込みます。
- ②付属の取付ボルトで仮固定します。（安全のためそのままにしておいてください。）
- ③木ねじ（4本）で本体を取付枠に固定します。

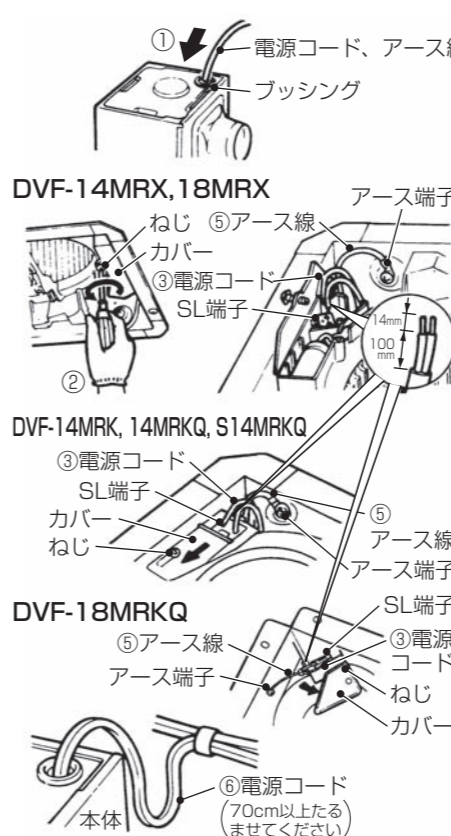


- 本体の固定は排気口に密着させてください。風もれの原因になります。
- 本体を取付枠の上に固定しないでください。

A-4

- 電源コードとアース線を接続します。
- DVF-14MRX, 14MRK, 14MRKQ, S14MRKQ, 18MRX, 18MRKQ

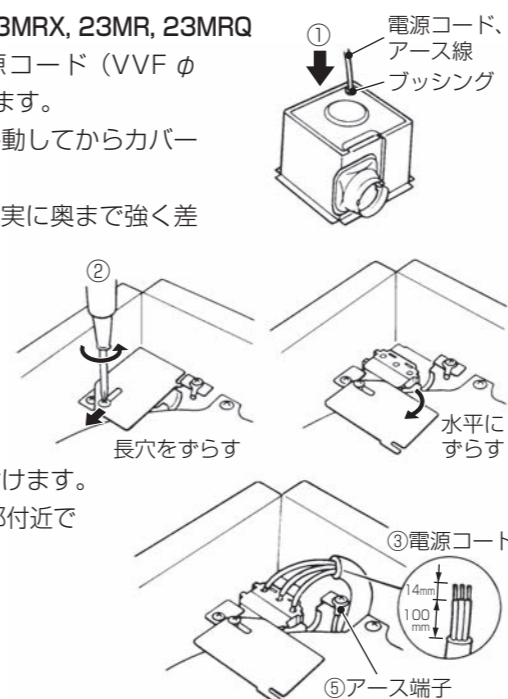
- ①本体上部のプッシングから電源コード（VVφ φ 1.6, φ 2）、アース線を差し込みます。
- ②カバーのねじをゆるめ、カバーをあけます。
- ③SL端子に電源コードの芯線を確実に奥まで強く差し込んでください。（電源被ふくは14mmむいてください）
- ④カバーを閉じて、ねじを締め付けます。
- ⑤アース端子に、アース線を取り付けます。
- ⑥電源コードおよびアース線は本体部付近で70cm以上たるませてください。



- 配線工事やスイッチの取り付けは必ず電気工事業者（法的有資格者）へ依頼してください。
- スイッチは必ず活線側に取り付けてください。

- DVF-20MRX, 20MR, 20MRQ, 23MRX, 23MR, 23MRQ

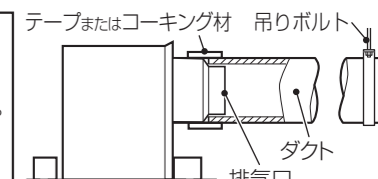
- ①本体上部のプッシングから電源コード（VVφ φ 1.6, φ 2）、アース線を差し込みます。
- ②カバーのねじをゆるめ、長穴を移動してからカバーを約90°水平にずらします。
- ③SL端子に電源コードの芯線を確実に奥まで強く差し込んでください。（電源被ふくは14mmむいてください）（差込穴と位置はラベルの表示に従ってください）
- ④カバーをもとへもどし、ねじを締め付けます。
- ⑤アース端子に、アース線を取り付けます。
- ⑥電源コードおよびアース線は本体部付近で70cm以上たるませてください。



A-5

- 排気口にダクトをはめ込みテープまたはコーキング材で密封します。

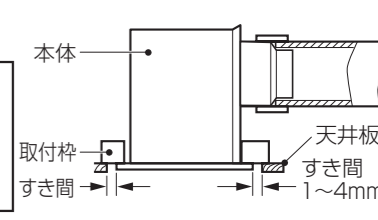
- お願い
- ダクトは室外側を下げて（勾配1/100～1/50）吊りボルトなどで保持してください。
- ダクト配管工事は管工事業者へ依頼してください。



A-6

- 天井板を貼り付けます。

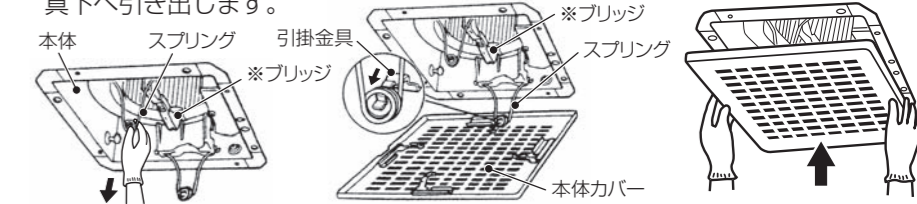
- お願い
- 本製品は本体を天井よりはすせる構造としてありますので天井板と本体のフランジとのすき間が1～4mmになるようにしてください。



A-7

- 本体カバーを取り付けます。

- ①本体からスプリングを止まるまでゆっくと真下へ引き出します。
- ②スプリングに引掛金具を引っ掛けます。
- ③本体カバーをそのままゆっくと押し上げます。



※イラストはDVF-14MRX, 18MRXです。その他の機種にはブリッジはありません。

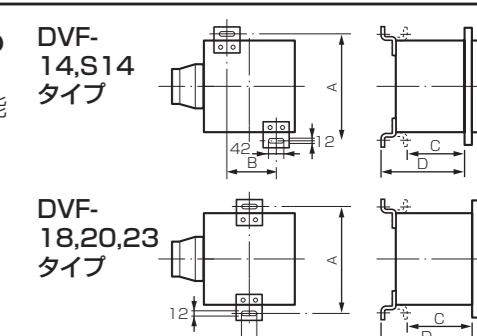
吊下金具を使用するとき

1

- 吊下金具は別売のDV-1Tを使用します。
- 吊下金具を使用して取り付けるとき、本体の取りはずしはできません。

2

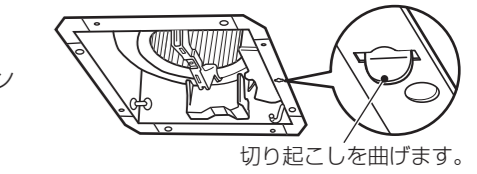
- 次図を参照してアンカーボルトを埋め込みます。
- 吊下金具は破線のような取り付けも可能です。



3

- 排気口を本体に固定します。

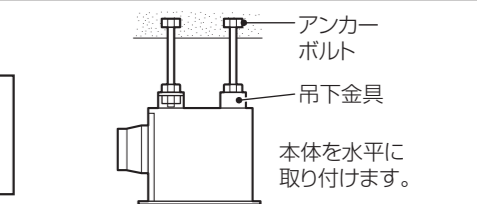
- 排気口の切り起こしを本体の穴に通してベンチ等で曲げます。



4

- 本体をアンカーボルトに取り付けます。

- お願い
- 本体が水平になるように取り付けてください。



5

- 取付枠を取り付けます。

6

- 以後の取り付けはA-4・5・6・7を参照してください。

B. 天井板を貼った後のとき

B-1

- 排気口を固定します。

- ダクトの先端は下のA寸法に合わせ

- 排気口をダクトにはめ込み取付枠に付属の木ねじ（1本）で固定します。



- ダクトの先端は下のA寸法に合わせ

- 排気口が傾いていますと本体が取り付けられません。

B-2

- 排気口とダクトの接続部分にテープを巻き密封します。
- 詳しくはA-5を参照してください。

B-3

- 電源コードとアース線を接続します。
- 詳しくはA-4を参照してください。

B-4

- 本体を取付枠に固定します。
- 詳しくはA-3を参照してください。

B-5

- 本体カバーを取り付けます。
- 詳しくはA-7を参照してください。

以上で取り付け完了です

- つぎの点検を行い異常がないか確認してください。

- 製品の取付強度が十分なこと。
- 運転したとき異常音、異常振動がないこと。
- 本体カバーが確実に取り付けられていること。